

## 日本国際切手展'91 記念の小型シート (1990.10.16 発行)

過去、日本国際切手展記念切手は、1991年、2001年、2011年と3回発行された。5ページで紹介するのは、1991年日本国際切手展の時発行された小型シートと前売り入場券つき小型シート(売価1000円)である。

私には、国際切手展は程遠く、当時中国切手に熱を上げていてエンタイヤなども買ってはみたものの、一人ここ熊本で指導してくださる中国切手収集家もいなくて、切手展も私たちが年に一回秋に開催する支部切手展にすぎない。

21世紀に入るところ、右腕の腱手術を行い、器用でない性格がまた輪をかける様に不器用になってしまい、緻密なリーフ作成は最近あまり行っていない。

切手展に行くにしても、見たいテーマもなく、共通テーマの郵趣仲間もいないので本当に「井の中の蛙大海を知らず」の状況である。

スタンプショー博多に30年くらい前、雰囲気を感じたため1回一人で顔を出しただけで、2年前には山本さんと筑後地方切手の集いに顔を出したこともあったが、興味ある対象は結果探し切れなかった。

さて、ビジュアル日本切手カタログ vol.1 記念切手編の情報を借りて、日本国際切手展'91 小型シートのもっと具体的な説明に入ると発行枚数200万枚、前売り入場券つきは10万枚でしたが、売れ残り24,408枚が断裁廃棄処分されたということです。

私が所有する前売り入場券つき小型シートは、故安宅さんから分けて貰ったもので当時、安宅さんは、外国の切手展によく出展されていたことが思い出されます。

因みに、小型シートのカタログ評価は200円、前売り入場券つきは12,000円であり、やはり切手の発行枚数というのはその評価に大きく影響していることが分かる。

国際切手展2021は、パシフィコ横浜にて8月25日から30日まで予定され、開催に向けて準備が進んでいるようです。新型コロナウイルス問題もあり、どのような形の開催になるのでしょうか。気にかかる所です。

